



ハトダヨ  
2023年  
3月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL 35-5500 FAX 35-5525

函館市中央図書館だより

第82号 令和5年3月2日 発行

## 予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介  
します。こちらを参考に読みたい  
本を探すのも一つの方法です。

令和5年2月20日現在、予約回数の多かった本をご案内しています。

- |    |                       |          |
|----|-----------------------|----------|
| 1  | ハヤブサ消防団               | 池井戸 潤／著  |
| 2  | しろがねの葉                | 千早 茜／著   |
| 3  | 老害の人                  | 内館 牧子／著  |
| 4  | おいしいごはんが<br>食べられますように | 高瀬 隼子／著  |
| 5  | 教誨                    | 柚月 裕子／著  |
| 6  | #真相をお話します             | 結城 真一郎／著 |
| 7  | 汝、星のごとく               | 凧良 ゆう／著  |
| 8  | 審議官                   | 今野 敏／著   |
| 9  | 夜に星を放つ                | 窪 美澄／著   |
| 10 | 光のところにいてね             | 一穂 ミチ／著  |

## 図書館俳句ポスト受賞者

11月俳句ポストへ応募された中から選ばれた  
作品です。お題は「木枯(こがらし)」。

特選

木枯に全て差し出す大樹かな

村田鈴音

佳作

鯛焼きは土産夫を許す夜  
万年筆の文字やはらかに小春かな

小野寺礼子  
松浦学

入選

木枯や転がりゆくは焼酎缶  
冬来る三面記事のど真ん中  
木枯の呼吸で走る枯葉かな  
懇ろにけふも日風を吊し柿  
洗ひかけ畑道具の冬隣

銀子  
田川管子  
練合陽子  
安福巖  
中西芳之

## 展示コーナーのご案内

開架展示

『興味を持ったならその先へ ○○入門』

令和5年3月4日(土)

～令和5年3月30日(木)

もうすぐやって来る春に向けて、新しい  
ことへの挑戦を後押しするような本を集め  
ました。

ミニ展示

『SNS活用BOOK』

令和5年2月25日(土)

～令和5年3月30日(木)

ツイッターやインスタなど、SNSに関連  
する本をご紹介します。種類や特性を理解  
して上手に利用しましょう。



ハトダヨにしか  
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

## スタッフのおすすめ本

場所：A25～30  
請求記号：F77

タイトル：「セカンドチャンス」

著者：篠田 節子 出版社：講談社 (2022年6月)

20年あまりの親の介護中、自分のことは後回し。まずは親が第一で恋愛など考えてはいけな  
思っていた。いざ介護を終えて気づくと婚期を逃し不健康なからだになっていた51歳の麻里が、親  
友の一言をきっかけに水泳教室に通い始める。どこにでもいそうな登場人物たちが時に笑えて、大会  
出場を目指す仲間たちとのレッスン風景は次第に臨場感を増していき、これは大人の青春物語なのね  
と思いつつどんどん面白くなっていきました。麻里が幸せになりますようにと祈りながら、春先に  
読んで幸せな気持ちになれた小説です。

場所：A19～21  
請求記号：727 コ

タイトル：「世界ピクト図鑑」

著者：児山 啓一 出版社：ピー・エヌ・エヌ (2021年8月)

東京オリンピックのパフォーマンスで話題になったピクトグラム。言葉がわからなくても、  
その表示を見ただけでそれが何を意味するものなのか一目瞭然のピクトグラムは、とても便利  
なものですよね。

この本は世界26か国80都市のピクトグラム1000点の写真を収録した図鑑です。

項目別・国別にかわりやすく分類されていて、同じ場所の表示でも国によって色や形など微  
妙なデザインの違いがあるのが興味深く、旅行に行った時にも活用できそうな一冊となってい  
ます。

場所：J20～22  
請求記号：814 伊

タイトル：「いろ（日本のことばずかん）」

監修：神永 暁 出版社：講談社 (2021年12月)

元小学館辞典編集長が監修のこちらの本は、色の名前の意味や言葉に関わる作品を見開きっぱ  
の美しい写真と共に紹介しています。日本語には色にまつわる言葉がたくさんありますが、歌舞伎役  
者が着ていた「団十郎茶」や黒いうるしの色「漆黒」、月が出るときに白く染まる空の色「月白」など  
鮮やかな色の由来や歴史を楽しめます。

シリーズで全3冊出ていますので「そら」「かず」もあわせてご覧ください。

## 館長随想(十二)



旅行が好きです。観光地を巡ったり、史跡を見たり、美味しいものを食べたり、心が洗われます。たまにしか行けません、それでも行くときは旅行ガイドを熱心に読み込み、行く先を決めるのが楽しみです。関東以南は飛行機に乗ります。陸路の旅もいいですが、空の旅も楽しいものです。3月4日には、「飛行機を知ろう」という子ども向けのイベントを行います。当日は、日本航空様のご協力を得て、函館出身のパイロット、客室乗務員が来て、小学生に飛行機や空港について説明し、どんな仕事をしているか教えてくれます。客室乗務員による絵本の読み聞かせもあります。飛行機に乗ったことのない子どももたくさんいることと思います。憧れの職業人に実際に会って話を聞くことで、将来の夢を膨らませてほしいと願っています。

3月25日には、「地域文化実践論発表・ワークショップ」を行います。北海道教育大学函館校2年の履修科目である地域文化実践論では、博物館について調査・研究をしています。今回はその履修科目での研究発表を図書館の研修室にて行います。学生さんが考えた博物館構想について自由な意見を発表してくれます。その後、学生さんも交えて聴講者と一緒ワークショップ(テーマに沿った討論)を行い、最後にまとめの発表をするものです。

ワークショップにはどなたでも参加できます。教育大進学を考えている中学生・高校生は大歓迎です。もちろん、博物館に興味のある社会人の方も歓迎です。図書館で大学の授業が受けられます。ぜひご参加ください。詳しくはチラシ・ポスターをご覧ください。(館長 落合仁子)

# デジタル資料館

## 紹介



ガムから切手まで自販機の時代 (ph004926)



10種類以上の食料品が買える自販機 (ph004927)



はがき自動発売機 (ph004867)

これらは昭和38年、39年に北海道新聞に掲載された写真です。函館にも自販機が進出してきたことを伝えています。左の写真は、10円玉を入れて紙コップにジュースをつぐ機械で子どもたちに人気がありました。デジタル資料館では多くの「あの頃」に出会えます。

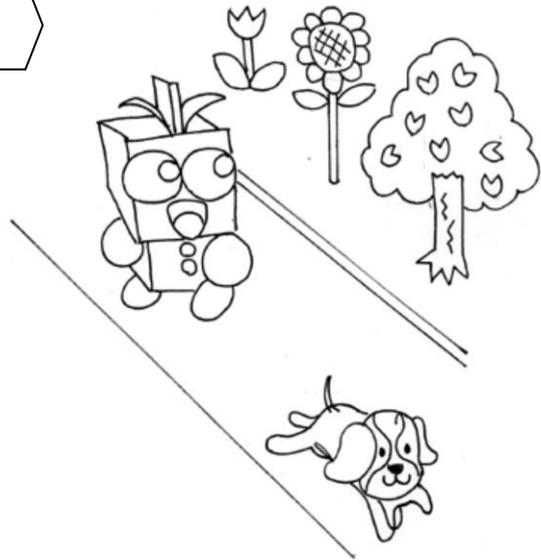
# 図書館のおはなし

## 図書館とお花

中央図書館の外周には、いろいろな樹があり、花が咲いています。4月末ぐらいには、正面玄関側から見える五稜郭公園の綺麗な桜が見えるんだ。

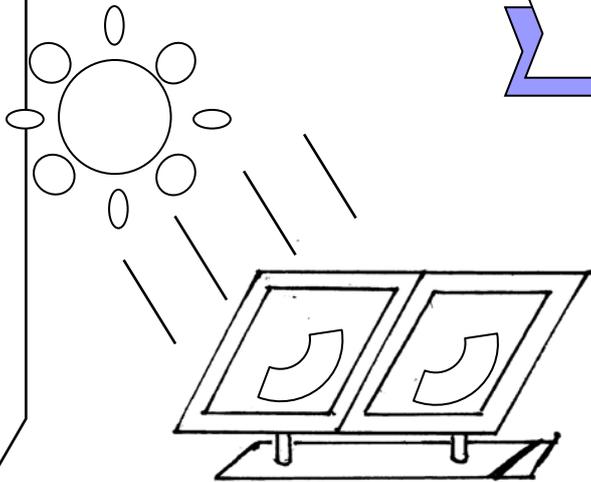
花壇には図書館ボランティアさんがチューリップやひまわりを植えてくれてるよ。季節の魅力がいっぱい。天気の良い日は図書館を一周、散歩してみてね。

花や樹の種類、興味を持ってくれたら、ぜひ図書館の本で調べてみよう。



## 図書館と電気

中央図書館の屋上には、太陽光発電用パネルが設置されているよ。館内ライトなど、図書館電気の一部を作ってくれてるんだ。太陽に感謝ですね！



夜になっても本が読めるのは、電気のおかげ。

## 図書館の奥にあるものは

中央図書館のフロアには、たくさんの棚があって、本もいっぱい置かれているね。

でも図書館の本はそれだけではないんだ。図書館の奥には「閉架書庫」なるものが存在。なんと40万冊以上の本が保管されているよ。

フロアを探して見つからない本がある時は、もしかしたら閉架書庫にあるかもしれない。スタッフが取りに行きますので、気軽に声をかけてくださいね。

多くの資料を保存、保管。その名は「閉架書庫」！

